

「アジアから問われる日本の戦争」展

2023

5月5日[こどもの日]

6日[土] 10時～
19時

エル・おおさか 入場無料

2日間、日本の侵略戦争・植民地支配の展示と、現在進行中の戦争準備について、たくさんの展示をしています。過去の戦争、そして今起こりつつある戦争のことについて、一緒に思いを馳せてください。

【メインイベント】5月5日14時～

伊波 洋一 講演会

※資料代 500円

岸田軍拡・安保3文書で日本全国が
戦場になるってホンマなん？

【プレイベント】5月4日18時～

川口 真由美 コンサート

※前売 2500円
当日 3000円

すべての武器を楽器に

電話番号の訂正
080-3100-2100

「アジアから問われる日本の戦争」展2023 実行委員会

E-mail regain_peace@yahoo.co.jp Tel ~~080-3822-0404~~

展示内容や講演会・映画上映等の情報は順次フェイスブックに公開します。
フェイスブックのページはこちらのQRコードから ⇒



「アジアから問われる日本の戦争」展 2023

岸田政権は安保3文書を閣議決定し、住民が粘り強く反対運動を続けている辺野古・高江の新基地建設を強行し、琉球弧と呼ばれる沖縄県・鹿児島県の島々で自衛隊の基地を拡大し続けています。「台湾有事」を煽り、そして軍拡のための増税も公言しています。

「アジアから問われる日本の戦争」展は2019年より毎年開催し、今回で5回目となります。ピースおおさかから加害展示が撤去されたことをきっかけに始まったこの戦争展は、これまで日本の戦争加害を中心にイベントを組み立ててきました。しかし今年は過去の戦争加害ばかりではなく、明日起こるかもしれない戦争加害への危機感をみなさまと共有したいと思っています。

戦争展のメインイベントとして、参議院議員の伊波洋一さんに講演をお願いしました。岸田政権がすすめる戦争できる国づくりがどのようなものか、いったいどこまで進んでいるのかを学ぶ貴重な機会です。またプレイベントとして川口真由美さんのコンサートも企画しました。沖縄に思いを馳せ、共にありたいとねがうコンサートになることでしょう。

昨年までと少し違う「アジアから問われる日本の戦争」展に、ぜひともおこしください。

5/5 メインイベント

伊波 洋一 講演会

岸田軍拡・安保3文書で日本全国が戦場になるってホンマなん？



14時から(13時半開場)
6階大会議室にて
資料代500円(学生・障がい者無料)

【プロフィール】沖縄県宜野湾市出身。琉球大学理工学部卒。沖縄県議2期、宜野湾市長2期を経て、16年7月から参議院議員・会派「沖縄の風」。現在2期目。

座右の銘:基地のない平和な沖縄
著書:「普天間基地はあなたの隣にある。だから一緒になくしたい。」「対論・普天間基地はなくせる」「沖縄とヤマト」(かもがわ出版)等

5/6

映画上映会 5階視聴覚室

※戦争展への協力金として1日500円いただきます

10:30～ はだしのゲン2

平田敏夫監督作品 1986年 86分
原爆投下から3年たった広島で、ゲンは家族と必死に生きていた。しかし原爆の放射能は母親の体を蝕んでいく。

13:00～ ナナイの涙

中井信介監督作品 2009年 100分
1991年にフィリピンから撤退したスービック海軍基地の跡地周辺には、米兵との間に生まれた子どもを持つナナイたちがいる。そして米兵に翻弄された女性や子どもの心には癒えることのない傷が残っていた。

15:00～ 南京!南京!

陸川(ルー・チューアン)監督作品 2009年 135分
中国が製作した南京大虐殺をテーマにした映画。レイプ・オブ・ナンキンといわれた事件の実相をリアルに描くばかりでなく、加害者である日本兵の心情にも迫ろうとする。

17:40～ シー・オブ・ミラクルズ

ダン・マロイ監督作品 2017年 17分
〈上関の自然を守る会〉の高島みどりは、発電所建設に反対して35年間闘ってきた漁師や農家とともに、上関の海と自然環境の保護のために闘いつづけている。

5/4 プレイベント 川口 真由美 コンサート

すべての武器を楽器に

18時から(17時半開場) ※限定80人
プチ・エルにて(エルおおさか地階)
前売2500円(学生・障がい者1500円)
当日3000円(学生・障がい者2000円)
前売お申し込みサイト⇒
<https://qr.paps.jp/rHtHW>



京都のシンガーソングライターの川口真由美さんは、辺野古ゲート前の座り込みなどに参加しながら、歌で連帯を続けています。昨年12月には4枚目のCD『ESPINA』をリリースしました。



団体賛同1口 3000円
個人賛同1口 500円

振替口座：00940-1-237543
(ピースを取り戻す会)

※「戦争展賛同」とご明記ください
名前公表の可否を通信欄あるいはメールにてお知らせください

市民の手で戦争展を作っていきましょーう!



(写真は昨年の戦争展より)

【戦争展2023の構成団体】

アジア民衆歴史センター/1%の底力で朝鮮学校の民族教育を支える会/岩国労働者反戦交流集会実行委員会/大阪城狛犬会/韓国の原爆被害者を救援する市民の会/関西わだつみ会/教職員なかまユニオン 琉球弧の軍事要塞化/神戸・南京をむすぶ会/参戦日本兵の写真/写真展フクシマ実行委員会/侵略と加害の教科書展示/設置理念に則ったピースおおさかを取り戻す会/ZENKO堺・河内長野/戦死した叔父の遺した卒業アルバム/戦跡写真展/「炭鉱と戦争」エンピツ画実行委員会/治安維持法犠牲者国賠要求同盟堺支部/中国人強制連行受難者連誼会連合を支える会/とめよう戦争!伊丹自衛隊・防衛省申し入れ行動/豊中女性史を拓く会/屯鶴峯地下壕を考える会/南京大虐殺60周年大阪実行委員会/日中友好協会大阪府連合会/日中友好協会堺支部/日本近現代史を問う会/反戦国際兵士・伊田助男とともに/東アジア青少年歴史体験キャンプ実行委員会/未来のための歴史パネル展(みれば)/みんなビ(みんなで作えよう「慰安婦」問題)/靖国合祀イヤですアジアネットワーク/ワークショップ・書のサロン ほか